

月間市況等報告集計表 (6年 3月分)

1. 生鮮食料品等の市況

富山中央青果株式会社

(1) 市況の概要

※. 入荷数量=t 比=% 平均単価=円

種類	市況の概要	入荷数量	前年同月比	kg当り 平均単価	前年同月比
			前月比		前月比
野菜	2月までの暖冬により前進出荷の傾向が強かったが、3月は気温の低い日が多く、天候不順や気温低下による生育や収穫の停滞が生じて作柄の端境となる品目が多かった。白菜や葉物類は秋冬作が減少する中、春作が低温が低温のため入荷量が伸び悩み、月を通して堅調な相場が続いた。	1,589	91%	269	104%
			97%		110%
果実	3月国内果実は、イチゴ、甘夏、デコポン、リンゴ中心と販売となった。イチゴは、3月下旬より増え始めた。リンゴ、デコポンは、入荷減、単価高で推移。3月の外果は、4月に向け徐々にオレンジ等が増え始め本格的になってきている。	710	91%	365	117%
			101%		102%

(2) 主要品目の市況

※. 入荷数量=t 比=% 平均単価=円

主要品目	市況の概要	入荷数量	前年同月比	kg当り 平均単価	前年同月比
			前月比		前月比
野菜	だいこん	104	122%	135	115%
			95%		116%
	にんじん	65	107%	200	130%
			50%		187%
	キャベツ	177	96%	101	131%
	94%		122%		
菜	きゅうり	71	83%	413	125%
			101%		92%
たまねぎ	北海道産は全国的に在庫過多のため値下がりした。長崎・佐賀は天候不順のより不安定な出荷、価格も高値。	297	83%	139	130%
			84%		89%
果	甘夏・サンフル	9	150%	164	88%
			4%		64%
	いよかん	8	114%	286	105%
	21%		107%		
実	サンフジ	20	38%	485	174%
			74%		115%
	いちご	38	66%	1,527	124%
	119%		99%		
バナナ	2月より日本全体の出荷量が増えた。特に低地バナナの入荷増が全体数量を、押し上げた。	264	100%	209	103%
			106%		101%

2. 取扱品目の卸売実績

(金額:税込み)

種類	数量(kg)			金額(円)			
	受託	買付	計	受託	買付	計	
野菜	一般野菜	901,167	688,185	1,589,352	282,838,969	178,711,160	461,550,129
	加工野菜			0			0
	花き						
	その他						
	冷凍食品						
計	901,167	688,185	1,589,352	282,838,969	178,711,160	461,550,129	
果実	一般果実	111,462	598,856	710,317	82,909,947	197,353,952	280,263,899
	加工果実			0			0
	その他						
	冷凍食品						
計	111,462	598,856	710,317	82,909,947	197,353,952	280,263,899	
合計	1,012,628	1,287,041	2,299,669	365,748,916	376,065,112	741,814,028	